

---

# ROLE-PLAYING GAME

如月 葉月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ROLE-PLAYING GAME

### 【Zコード】

Z9131M

### 【作者名】

如月 葉月

### 【あらすじ】

2010年。ある少女がパソコンのRPGをしようとスタートボタンを押した。すると、そこで少女は気を失ってしまった。目を見ますと、知らない間に不思議な空間にいた。そこからその少女の冒険が始まった。

2作目です。作者は暇じゃないんですよ。一応。

今回はファンタジー系でいこうかなと思います。長続きするよう頑張ってみます。

最近気づいたのですが、私と同じユーザー名の方がいらっしゃって

ますが、その方とは別人ですし、真似をしたわけでもないのでご安心ください。

今回も誤字・脱字＆変な文章＆打ち間違えなどあると思いますが、そこもよろしくお願ひします。あと、原作もわかりませんので適当に書いてみました。ご了承願います。長くなつてすいません。ここはあらすじを書くところですね・・・。申し訳ございませんでした。

## 始まり（前書き）

今回もアドバイス等ございましたらお願ひします。

### 【プロローグ】

西暦2010年7月21日。とある少女がPCのRPGオンラインゲームを探していると、【ROLE-PLAYING GAME】といふゲームがみつかった。少女は、すぐにスタートボタンを押すと、氣を失ってしまった。目を覚ますと彼女のしらない空間に・・・。

「こじはどじだらつ・・・。不思議な空間・・・。

「お目覚めですか？ロナさん。」

「あなたは誰？といふか、何で私の名前を知っているの？」

「私はこのゲームの女神、『シリエス』です。どうしてあなたの名前を知っているかといふと、このゲームに会員登録したでしょう？そのときにIDを書き込んだでしょう。それでわかったのですよ。紺色の長い髪をした綺麗な女神系の女性が現れて、私に詳しく説明してくれた。

「そりなんだ・・・。といふより、こじはどじ？」

「何をおっしゃこますか。あなたは決心してこのゲームのスタートボタンを押したでしょ？」

「決心？」

「そう。このゲームをクリアするまでこの世界にいると。」

「ええ！そんなの聞いてないよ！」

「注意事項にかけてあつたでしょ？」

「読んでない・・・。」

ロナは「別に、やりながら読めばいいや。」といふやつである。

「あらら・・・。でも、押してしまったからにはしかたないです。あ、でも、クリアしたら、あなたがいた時間の現実世界に戻れますから。」

「そりなんだ・・・じゃあ、早く戻れるように頑張る！」

普通は納得しないだろ？

「その調子です。では、あなたの職業は何にし・・・」

「剣士で！――！」

即答だつた。

「わかりました。では、これを装備してください。」

シリエスから渡されたのは、RPGのベタな剣と盾と、革の服である。

「おお・・・ベタだ・・・。」

そう言いながら装備した。

「では、いつてらっしゃい。」

「え？あ、ちょっとお！」

そういうつて、シリエスは消えていった。すると、みたことの無い街にいた。

大きな不安もあつた口ナだが、目が輝いていた。

## 始まり（後書き）

こんな感じで終わらしょい。感想やアドバイス等がいるかもしれません。  
お願いします。

仲間（前書き）

誤字・脱字等ありましたらお願いします。  
村を街に修正致しました。

口ナはみたことも無い街の大通りをふらふらと歩いていると、怖  
そなおじさん（実際若いが、口ナにはおじさんに見えた）とぶつ  
かってしまった。すると、そのおじさんに話しかけられた。

「お前どこ見て歩いてんだよ……」

口ナが不良に絡まれていると、

「何してんのよ……その娘から離れなさい……」

と、女の子の声が聞こえた。

「ちっ……しゃーねーな……」

といつて不良は口ナから離れていった。その様子を見て、口をあん  
ぐりとあけていると、

「大丈夫？」

とその女の子から話しかけられた。

「えつ！？あ、うん。」

「あたし、前あいつに絡まれたんだけど、血だらけにしてやつたら、

あれから言つこと聞くよになつてきたんだ（笑）」

と、その女の子は明るく、怖い話を話した。口ナはおどおどしながら話を聞いていた。

「あ、そだそだ。あたしの名前は「ミオン」っていうんだ。あ、ちなみに、ひぐ しどは全然関係ないからね（笑）職業はプリーストだよ。攻撃は素手でもOKだからプリースト選んだんだ（笑）」「なるほどね！（納得した。）わたしは口ナだよ。剣士なんだ。」

「そなんだー！あつ！せつかくだからパーティ組まない？」

「えーいいの？嬉しいな ジャあ、これからよろしくね。」「うんっ……」

仲良くなつたことをきっかけにパーティを組み、一緒に冒険をすることになった二人であった。

最初はミオンを怖がっていた口ナだが、これから冒険をする

楽しみにしてこられた口ナであった。

仲間（後書き）

アドバイス等ありましたらお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9131m/>

---

ROLE-PLAYING GAME

2010年10月18日04時07分発行